

リップル (階段式傾斜護岸) NETIS登録

Ripple

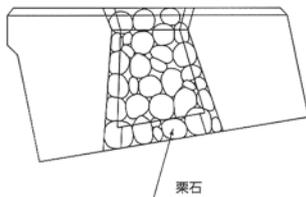
■特長

- リップルはブロックの形状が単純なため、製作及び据付けが容易です。
- 千鳥状に配列し、ブロック相互を連結することにより群体としての安定性が確保されます。
- 階段式の形状は、波の遡上を抑制します。有孔タイプは、波浪条件や環境条件に合わせて、中詰工法の選択が可能です。
 - a) 孔内に栗石を充填することにより、波の反射率を小さくし、前面洗掘や吸い出し等の防止効果が大きくなります。
 - b) 孔内に植栽をすることで、環境を考慮した護岸を構築することができます。
- 蹴上げが人の昇降に対して無理のない高さとなっていますので、階段工としても使用できます。
- 法勾配は 1:2.0~1:5.0 の範囲で施工が可能です。

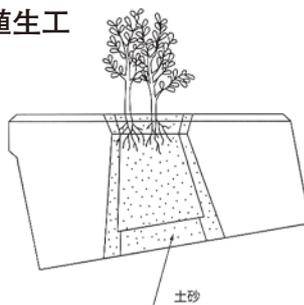


■中詰工

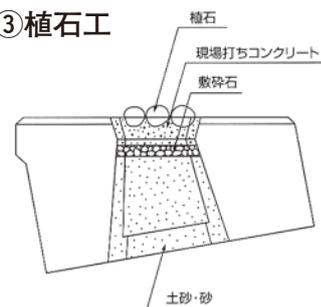
①透水工



②植生工



③植石工



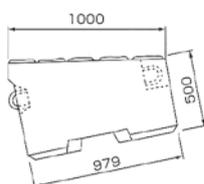
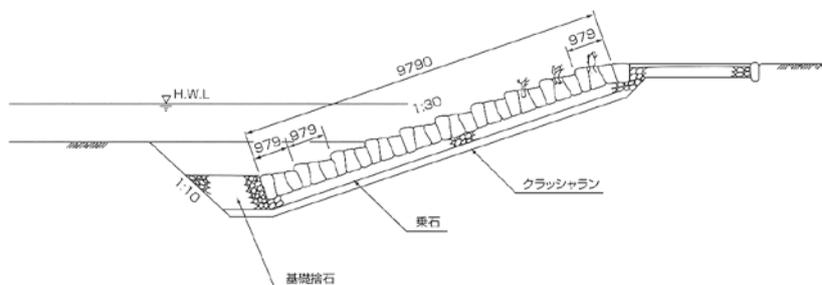
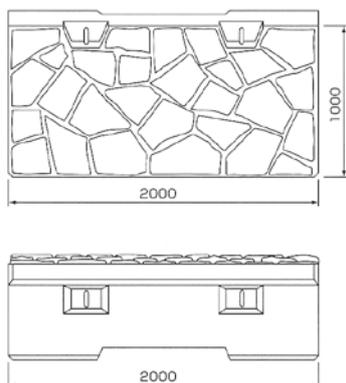
リップル (階段式傾斜護岸)

Ripple

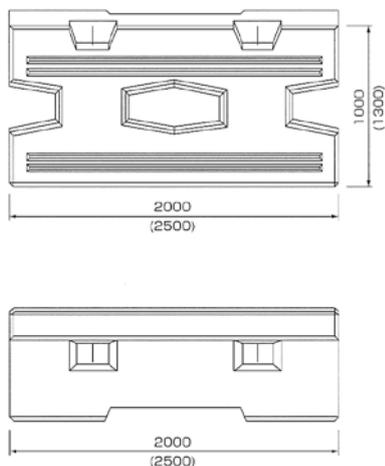
傾斜堤護岸工

■規格寸法図 (石張I型AS形)

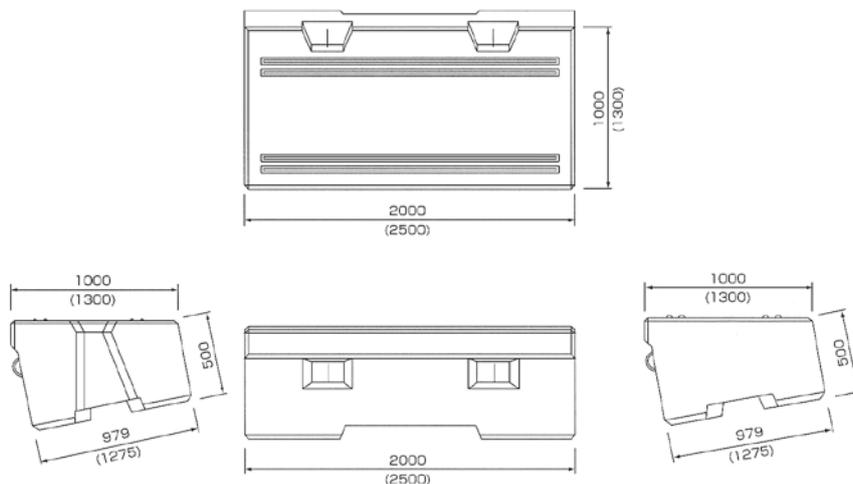
■施工断面図例



H形



S形



呼称	型	種類	参考質量 (kg)	主要部寸法 (mm)			体積 (m ³)	型枠面積 (m ²)	備考
I型	2t型	AH形	2,001	2,000	1,000	500	0.870	6.97	
	3t型	BH形	3,047	3,000	1,000	500	1.325	10.27	
	2t型	AS形	2,389	2,000	1,000	500	1.039	5.87	
	4t型	BS形	3,631	3,000	1,000	500	1.579	8.42	
II型	3t型	AH形	3,199	2,500	1,300	500	1.391	9.56	
	5t型	BH形	4,926	3,750	1,300	500	2.142	14.93	
	4t型	AS形	3,926	2,500	1,300	500	1.707	8.18	
	6t型	BS形	6,016	3,750	1,300	500	2.616	12.66	